

「さらに強く 魅力ある鴨川」をめざし

市長 亀田郁夫

このたび、市民皆様の負託を賜り、鴨川市政を担わせていただくことになりました。少子高齢化対策や経済再生、行財政改革をはじめ、山積する課題を前に、市長としての重責を、厳粛に受け止めております。

さて、我が国では現在、東京一極集中による人口減少を防ぐため、「地方創生」を強力に推進しています。これは、地方がその地域ならではの特性を活かした「成長戦略」を企画し、実践する取り組みを、政府が支援する政策ですが、一方で政府は、地方にも応分の責任を求めています。

すなわち、各市町村が地域の魅力を発掘し、最大限活用するといった創意工夫を怠れば、これからの地域間競争には生き残れないという、厳しい現実を意味するものであります。

幸いにして本市は、首都圏に近く、農業、漁業、観光、商業、医療、福祉、教育、スポーツなど、さまざまな分野で素晴らしい資源を有しております。

またこれらは、先人達のたゆまぬ努力により、築き上げられた貴重な財産であると承知しております。

私は、有形無形の資源を活用し、「さらに強い鴨川」、「さらに魅力ある鴨川」を創りあげることを使命として、全力で取り組んでいきます。

そのために、鴨川市が現在掲げているさまざまな政策に対して、それぞれの課題をしっかりと見直し、良いものは伸ばし、改めるものは素直に改め、今一度原点に立ち返って優先順位を定め、次世代を生きる人々のために前進して参ります。

現在、本市では、(仮称)多目的施設の建設やごみ処理広域化事業、水道事業の検証、海辺の魅力づくりを通じた交流まちづくり推進事業、総合交流ターミナル機能拡充事業など、さまざまな懸案や推進すべき事業があります。

まず足元を固める意味で、ごみ処理施設や水道管の老朽化対策、道路整備など、最低限の生活インフラの整備については最優先に考える必要があります。

これらは鴨川市第3次5か年計画に盛り込まれておりますが、短期・中期・長期的な資金計画に今一度照らし合わせ、実行に移して参ります。

最小の経費で最大の効果を実現するため、各種施策の実施にあたっては、事業効果の最大化はもちろん、リスクの最小化にも努めて参ります。

以上に加え、県議会議員10年のキャリアで培った経験や関係機関とのネット

ワークを駆使し、国や県の施策を最適な形で市政に反映できるよう努力いたします。

市政の舵取り役という、大変重い使命を全うするにあたり、「現場主義」をモットーに、市民の皆様と顔の見える関係づくりを進め、かつスピード感を持った対応で、皆様との信頼関係を築き上げて参りたいと考えております。

私は、与えられた4年間、この決意を忘れることなく、市民皆様と共に考え、行動する市政運営に、全身全霊を傾けて参る覚悟でございます。

そのうえで、市職員には「①市は企業と同じ、どのような投資をするのか、投資額に対して効果が上がるのか、そのことに対してのリスクはどうか徹底分析する」、「②鴨川から房総を変えるというくらいの意識を持つ」、「③市長を利用して独自の政策を実現する意気込みを持つ」、「④市長が誰であれ、あるいはいなくても大きな影響は受けない自負で仕事に当たる」。という4点を訓示したところであります。

どうぞ皆様におかれましても、市民懇談会やイベントなどへ積極的にご参加いただくことで、本市のまちづくりに対し、これまで以上のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、市長就任のごあいさつといたします。